

「減らそう犯罪」第6期ひろしまアクション・プランの骨子案について

1 要旨・目的

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランの計画期間が令和7年で終了することから、「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を継続し、犯罪の起こりにくいまちづくりを推進するため、次期プランを策定する。

2 現状・背景

平成14年に開始された「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動により、刑法犯認知件数は一貫して減少し、令和3年には戦後最少を記録するに至った。

しかし、令和4年以降、刑法犯認知件数は3年連続で増加に転じ、さらにSNSを悪用した犯罪や匿名・流動型犯罪グループによる犯罪など悪質巧妙化する犯罪への対策が必要となっている。

現在の社会情勢、犯罪情勢において特に注視すべき事項として

- ・防犯意識や規範意識などの意識づくりの必要性
- ・高齢化や後継者不足などによる自主防犯活動の担い手減少
- ・子供を守る取組の必要性
- ・急速なデジタル化
- ・詐欺被害の拡大

が挙げられる。

3 骨子案の概要

(1) 計画期間

令和8年から令和12年までの5年間

(2) 策定に当たっての考え方

ア 運動開始以降の成果を踏まえ、取組の基本的方向は継続する。

イ 上記事項を踏まえて重点的な取組を策定する。

(3) 取組の方向

ア 運動目標

日本一安全安心な広島県の実現

～住む人 来る人 誰もが安全安心を実感できるまちづくり

イ 推進指標

(ア) 刑法犯認知件数の縮減（数値目標は検討中）

(イ) 体感治安の向上

治安良好と感じる人の割合 90%以上

ウ 取組の基本的方向

施策領域		取組の内容
安全安心なまちづくり	意識づくり	防犯意識と規範意識を高め、県民の「犯罪抵抗力」の向上を図る
	地域づくり	地域の見守り機能を再生・強化し、地域の「犯罪抑止力」の向上を図る
	環境づくり	防犯性が高く「犯罪予防力」に優れた生活環境の創出を図る
安全安心をもたらす警察活動	警察活動の強化	犯罪の発生を未然に防ぐとともに、犯罪の早期検挙により、安全安心をもたらす警察活動を推進する

エ 重点取組

(ア) 「減らそう犯罪」意識の醸成

タイムリーな情報発信や多様な主体と連携した防犯講習会等の開催、青少年の非行防止活動等の推進等により、「自らの安全は自ら守る」という防犯意識と犯罪に加担しない規範意識を醸成する。

(イ) 見守り活動の活性化

大学生など若い世代の活動参加促進や、ながら見守り活動の推進などにより、「地域の安全は地域で守る」という自主防犯活動の担い手を育成し、活動の活性化を図る。

また、見守り活動を始めとする自主防犯活動を活性化させることにより、高齢者の社会参画の場を提供し、高齢者の孤立防止を図る。

(ロ) インターネットの安全利用の推進

広報啓発活動等により社会全体のサイバーセキュリティの向上を推進するほか、インターネットリテラシー教育など、サイバー犯罪被害の防止対策を引き続き推進する。

(ハ) 詐欺被害防止対策の推進

特殊詐欺やSNS型投資詐欺等に関して、広報啓発活動及び電話対策のほか、多様化する手口に応じた被害防止対策を継続推進する。

(ニ) 県民生活に不安を与える犯罪の徹底検挙

パトロールなどの街頭警察活動の強化により街頭犯罪の抑止を図るほか、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪やサイバー犯罪など、多様化・複雑化する犯罪に対し、戦略的・効果的な実態解明・取締りを推進する。

(4) 根拠法令

「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例

4 スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		素案●	←→			最終案●

パブリックコメント